

## 式 辞

柔らかく輝く石鎚の稜線にも春のたたずまいが感じられ、本校自慢のバラ園のつぼみも日に日にふくらみを増す、今日の佳き日、御来賓の皆様のお臨席を賜り、第六十二回愛媛県立東予高等学校入学式を、かくも盛大に挙げていきますことは、大きな喜びであります。御来賓の皆様、本日は誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はおめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。皆様が大切に慈しみ、ここまで立派にお育てになったお子様を、私ども教職員一同、責任を持ってお預かりいたします。お子様の三年間の高校生活が実り多いものになるよう、教職員一同、精一杯努めてまいります。御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

本校は、昭和三十七年に、地場産業を担う技術者育成の期待を受けて設立された、今年で六十二年目を迎える学校です。生徒たちの活躍にも目覚ましいものがあり、昨年度、弓道部がインターハイ団体四位、本校弓道部の生徒二名が出場した国民体育大会遠的優勝、高校生ロボット相撲全国大会出場、高校生ものづくりコンテスト全国大会木材加工部門出場など、全国を舞台に多くの生徒が輝かしい実績を残しています。

これらの本校の教育活動は、同窓会や地域の皆様、保護者の皆様のお力添えによるところも大きく、深く感謝の意を表すところです。

ただ今、入学を許可しました五十八名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校は、充実した施設・設備のもと、豊富な知識と優れた技術を持つ教職員によって、専門性の高い教育が実践されています。日々の学習や実習はもちろん、資格取得やコンテスト、学校行事、そして部活動など、東予高校だからこそつかむことのできる、たくさんのチャンスがあります。

自分の目標を定め、一日一日を大切にし、努力を積み重ねてください。不安なことや困ったことがあれば、教職員に相談してください。いつでも皆さんを受け止める心構えでいますから、安心してください。

本校の校訓は、校章の五角形にちなんで五つの言葉からなります。その中に「温雅」という少し聞きなれない言葉があります。その言葉の意味は「落ち着いた言動と品性が身に付いていること」です。本校はものづくりを学ぶ高校です。私は、人がつくるものには、つくり手の生き方が表れると思っています。心がしっかりしている人こそが、美しく強いものを作ることができます。心がしっかりしている人の言動は落ち着いていて、ものごとの判断に間違いがありません。本校の校訓には、皆さんに、そのような心のしっかりした人であってほしい、落ち着いた言動と品性を身に付けた人であってほしいという願いが込められています。

皆さんには、地域、日本、世界の産業界から熱い期待が寄せられています。皆さんがこれからの三年間で、「思いやりの心」と「たくましく生きる力」を身に付け、地域を愛し、地域に愛され、日本、ひいては世界の新しい時代の担い手へと成長していくことを切に願って、式辞といたします。

令和五年四月十日

愛媛県立東予高等学校長 渡邊 琴子